

えんがわ

第7号

2007年10月発行

発行元
衣笠病院グループ
横須賀市小矢部
2-23-1
Tel.046-852-1182

なんて
素敵な。。。

最近、卓球をしていて感じました。相手の打ったあの小さな球が返せずに、遠くの方まで転がってしまい取りに行くと、相手の方がわざわざ走って、こちらまで取りに来てくれました。今までの経験から、言葉での「すみません」で終わっていたので、感動したので

す。訪問した後にいつも思います。入浴、清拭、排泄等のお手伝いをさせていたただいた後、少しでも心地よい気持ちになっていただけたかなど。

先日、私の不注意でベッドのシーツを汚してしまい

娘さんに謝りました。「今日はお天気だし、ちようど洗えてよかったわ。お母さんもきれいなシーツで気持ちいいでしょ」

ただでさえ介護の時間を取られているのに。また娘さんの仕事をひとつ増やしてしまつたと反省。おつちよこちよいの自分を叱咤激励していただき、感謝して次に失敗しない様、努力の日々です。

お家に訪問させて頂いて、利用者さんや家族の方からたくさんのご意見を頂いて頂いています。

でもまだまだ無知であります。また明日も教えて頂くとうと、運転に気をつけて、訪問に行ってきます。

衣病訪問看護ステーション
永島



えんがわ
在宅
モ
えんがわ
在宅
モ
えんがわ
在宅
モ

「そんなことをしたら、そうなるのはあたりまえでしょう!!!」こんな言葉をついて出てしまうようなニュースがあふれる今日このごろですが・・・本当にあたりまえなのでしようか?ちよつとうがった見方をしてみると、意外に自分にとつて「あたりまえ」であつて、その当事者たちにとっては、違うことがある

のです。

ひとはそれぞれに違つた、感情、考えを持つて暮らしています。それは、その人が育つた環境などによつて育まれてきたものであり、だれもそれを替えることはできません。それを替えることができるのは『自分自身』なのです。まわりが変えようと指導したり、注意したり、何度も何度もするとだいたい「そんなこと分かつている」「みんなのでやめろ!」と猛抗議を受けてしまうのです。その結果は?

衣笠病院長瀬ケアセンター
福祉用具 吉田

もうすぐインフルエンザの予防接種の季節です。主治医の先生に、受けてもよいか聞いておきましょう。

寒くなってきました。風邪などひかないようにお過ごしください。